

令和2年度自己評価結果公表シート

青英幼稚園

1. 本年の教育目標

- ◇ 基本的な生活習慣と正しい生活態度、(挨拶、言葉遣い、整理整頓、交友関係、お話を聞く態度等) 特にお話しを聞く時の態度と理解力の向上を図り、集団生活に必要な協調性を養う。
- ◇ 何事にも集中して粘り強く取り組む姿勢を養い、成し遂げた喜びと満足感が自信になり、さらに積極的に明るい性格に育つように導く。
- ◇ 体育・徳育・知育の総合教育を偏りなく実施し、幼児の未知なる可能性と伸び伸びした豊かな心を育む。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ◇ 教育の資質向上への取り組み
 - ☆教育課程の内容を確認し、全職員間で各園児の指導の課題点を話し合う機会を増やすと共に、積極的に研修に参加して保育技術向上を目指す。
 - 特に発達障害や気にかかる事がある子どもについて知識を高める。
- ◇ 法令の改訂を指導計画に生かして、質の高い教育を目指す。
- ◇ 施設環境の向上
 - ☆園児にとってより安全で清潔な環境を整えていく。
 - ・コロナ禍により感染拡大防止対策を講じる
(手洗いうがいの徹底、消毒、マスク着用、各クラスの換気、空気清浄)

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	評価	取組状況
教職員の指導能力向上	A	<ul style="list-style-type: none">・ 長期休園日を利用して各種研修会に参加し、学んだことを全職員が共有することで、専門分野への知識の向上に努めている。・ 年間を通じて専門の先生に指導を受けることで技術向上をはかる。・ 毎日の朝礼終礼で日々の子どもの姿、又は保護者からの意見・要望について、報告・連絡・相談の場を設けて情報が全員が共有する環境を作っている。
園児に接する時の基本姿勢を周知徹底	A	<ul style="list-style-type: none">・ 特に、言葉遣いの適正を意識し、親切かつ丁寧な接し方を再確認の上、常に教職員が手本となり行動で示す。・ 一人ひとりの子どもの長所を認め、教諭が公平かつ客観的に園児を見る目を養うように努める。

乳児クラス	A	<ul style="list-style-type: none"> 1才・2才からの幼児を預かり、保護者の育児負担を減らすと共に愛情豊かに子育て支援に従事する。
保育終了後の延長保育 早朝預かり保育 休園日の預かり保育	A	<ul style="list-style-type: none"> 子育て真最中の保護者にとっては、育児・家事・就労を連立させることは大きな壁であり、大きな負担ともなっているので、現代社会において求められるニーズの幅を拡大する。 保護者の就労の有無にかかわらず利用できる“休園日の預かり保育”を実施して、時間的にも気持ちの面でも余裕を持って子育てに向き合えるように、子育て支援を拡充しています。
幼稚園の情報を発信 家庭との連携と支援	A	<ul style="list-style-type: none"> 園の教育方針や取り組み状況をホームページや園だより、その他のプリントで情報発信している。 個人懇談会を行っている。 メール配信システムを導入し、細やかな情報発信を実施している。 役員会で意見をとりまとめました。 1・2才児クラスは園での様子（食事・排泄・午睡）を毎日担任から伝えるようにした。 (れんらくノートを使って毎日のやり取りができるようにしている。) コロナ感染防止のため、園見学・園庭開放は実施できず。次年度より可能な限り実施する予定。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価 A	<ul style="list-style-type: none"> 教職員各自が保育や役割を学年ごとに振り返り、自己評価を行う機会を設けた。学年だけでなく全職員で点検することで意識をもって取り組みました。 専門の先生に指導を受ける事で担任の指導に幅が出来てきた。又、子ども達の保育に取り組む姿勢や発言、行動力から意欲的に取り組んでいる様子がうかがえた。 乳児を受け入れることにより、他学年の子ども達が小さい子どもに対して思いやりの心が自然と育ってきている。
------	--

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルの見直しをすると共に、危機管理研修を行い、職員への意識づけを高める。又、避難訓練を月1回行い、目的を明確にした訓練を引き続き行います。 消防法第8条（防火管理者）により、防火管理者を定めて防火管理を行っている。 遊具の点検及び園舎・園庭などに危険な個所がないか日ごろから管理に努めている。（定期的に点検記録を継続していく） 消防署の指導も受けながら避難訓練の内容充実を図る。

<p>自然災害時の危機管理体制の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常時の危機管理について、子どもの引き渡し方法を含めた災害対応マニュアルを定期的に教職員間で確認を行う。 ・ 常に最新のニュースや気象情報を得られるような環境づくりを実施。 ・ 定期的な避難訓練と共に、災害時の食料や水、薬品類の備蓄などにも留意する。
<p>保護者への情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改善すべきところは、的確かつ迅速に修正する。
<p>指導計画の編成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当園の教育方針に則り、子育て中の保護者が期待するところを把握し、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した新たな指導計画の編成に取り組んでいく。 ・ 法令の改訂の内容を把握して指導計画を組む。特に年長児にあたっては「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を参考に個々の具体的な姿を捉え小学校との連携を図る。